

経営者JP総研 エグゼクティブ・ウォッチ vol.10

エグゼクティブの転職に関する意識調査

経営者は常に挑戦をする生き物！50%の経営者は今後転職を考えている。

38.9%のエグゼクティブは「転職をして失敗した」経験がある。

社風や期待されたミッションにおいて、入社前後のギャップに要因があることが明らかに。

エグゼクティブ向けの転職・キャリア支援サービスを展開する株式会社 経営者JP(本社:東京都渋谷区 代表取締役社長・CEO 井上和幸)は、管理職以上のエグゼクティブに対して「キャリア・転職」に関する調査を行いました。当社とお付き合いのあるエグゼクティブの男女約7,000名(有効回答数167名)を対象に、ご自身のキャリアにおいて重視されていること、過去の転職経験で感じたよかったこと・悪かったことなどのリアルな声を伺いました。

【主な調査結果】

■ 38.9%のエグゼクティブは「転職をして失敗した」経験がある。

転職後に失敗したと感じたことはありますか？と伺ったところ、38.9%が失敗を感じたという回答になりました。具体的な理由は「社風が合わなかった」、「入社前に伝えられたミッションと違う仕事を任された」など入社前後のギャップに要因があることが明らかになりました。

■ エグゼクティブの転職で最も重視するのは「自分が成し遂げたいテーマが実現できるか」

現職以外に新天地を選ぶとなった際に重視することはなんですか？と伺ったところ、「自分が成し遂げたいテーマの実現」が最も多く64.7%、続いて「社会的に意義があるか」が53.3%、「自分と会社のミッションが合致しているか」が48.5%という結果になりました。

■ 経営者は常に挑戦をする生き物！50%の経営者は今後転職を考えている。

今後の転職の可能性について伺ったところ、全体で見ると、58.7%が「転職を考えている」、41.3%が「転職を考えていない」という回答に。役職別に見てみると経営者の方は50%が「転職を考えている」という結果になりました。

昨今メディアでもミドル～シニア世代のキャリアや転職に注目が集まり、関連した特集や記事を目にしない日はありません。そこで経営者JP総研では今回、エグゼクティブの転職をテーマに調査を行いました。

まず、過去の転職経験を伺うと、転職経験者が83.8%、転職未経験者は16.2%と、転職自体が一般的なものであることがわかります。具体的に過去の転職回数を伺うと、全体の平均では2.6回となりました。

転職理由は「キャリアアップのため」や「新たな挑戦のため」などの意見が目立ち、逆に転職しなかった理由として多かったのは「現状に満足しているため」や「転職活動をしたものの、マッチする会社・案件がなかったから」でした。転職をしてよかったことについて伺うと、「自身のビジョンが実現できる環境になったこと」や「経営に携われるようになったこと」などの声が多く寄せられました。

一方で全体の38.9%は「転職後に失敗したと感じたことがある」と回答し、具体的な理由は「社風が合わなかった」が最も多く16.8%、続いて「一緒に働く人との相性が合わなかった」、「入社前に伝えられたミッションと違う仕事を任された」との回答が13.2%となりました。いずれも入社前後でのギャップが失敗と感じる要因になっていることが明らかになりました。

転職経験者の方に、転職を考えるときまず最初に相談したのは誰か伺うと、「誰にも相談しない」との回答が22.8%と最も多く、続いて18.6%が「家族」、14.4%が「エージェント」という結果になりました。

もし、いまの会社以外で新天地を選ぶとなった際に重視することはなんですか？と伺ったところ、「自分が成し遂げたいテーマの実現」が最も多く64.7%、続いて「社会的に意義があるか」が53.3%、「自分と会社のミッションが合致しているか」が48.5%という結果になりました。今後の転職の可能性を伺うと、58.7%が「転職を考えている」、41.3%が「転職を考えていない」という回答になりました。役職別に見てみると、経営者の方も50%が「転職を考えている」という回答になりました。

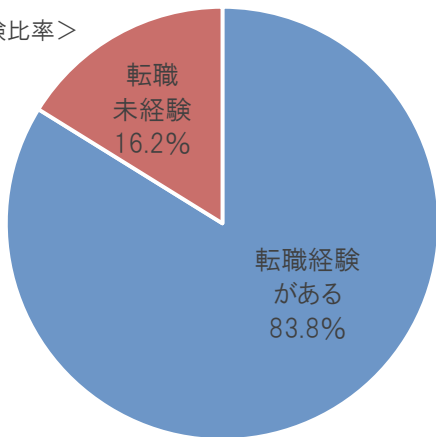
■ 経営者JP総研所長(経営者JP 代表取締役)井上和幸のコメント

「エグゼクティブの約4割が「転職して失敗」と感じているのは大問題ですね。カルチャーフィットでのミスマッチが最大の理由となっています。一方では、活躍するミドルシニア層が、今後の転職においては社会的意義やご自身のライフテーマを重視している姿が浮き彫りに。臨床心理学者F.ハースバーグの言う「衛生要因・動機付け要因理論」で言えば、転職時にはどうしても「衛生要因」＝給与・待遇・肩書き等に囚われ最終選択しがちですが、調査結果からも「動機付け要因」＝やりがい・テーマ・仕事仲間等をしっかり確認し満たす場を選択することが、入社後の活躍・働きがいにとって非常に重要であることが、今回の調査結果からも改めて認識できます。」

## ■83.8%が転職経験者、その平均転職回数は2.6回！

過去に転職経験があるか伺ったところ、転職経験者が83.8%、転職未経験者は16.2%と、転職自体が一般的なものであることわかります。また、「転職経験がある」と回答した方に具体的な回数を伺ったところ、「1回」という回答が最も多く20.4%、続いて「3回」が18.0%となりました。全体の平均は2.6回となり、役職別に見てみると、そこまで大きな差はありませんでしたが、部長クラス、と個人事業主の方は平均よりも少し高い数値が出ました。

<全体の転職経験比率>

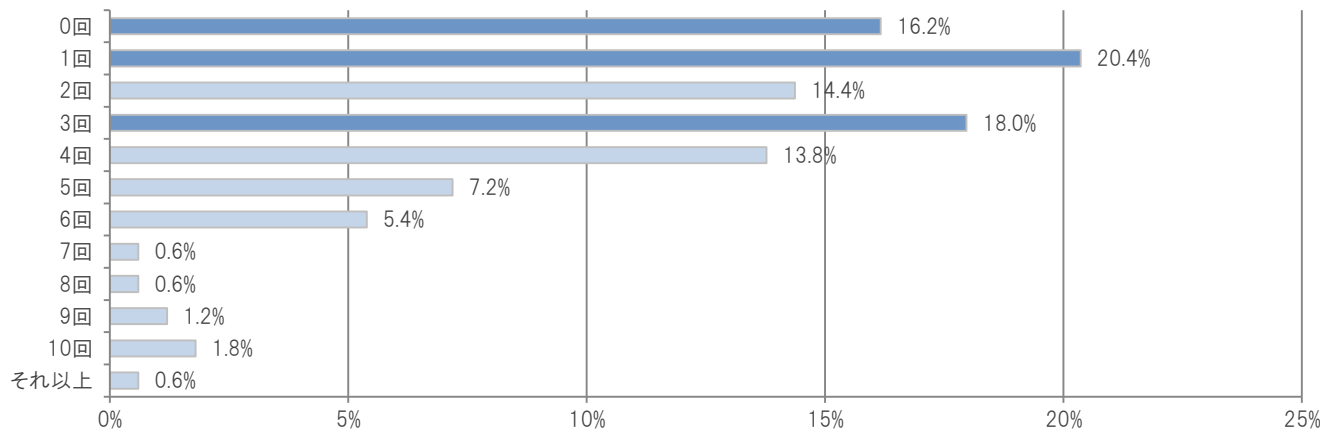


全体の平均転職回数

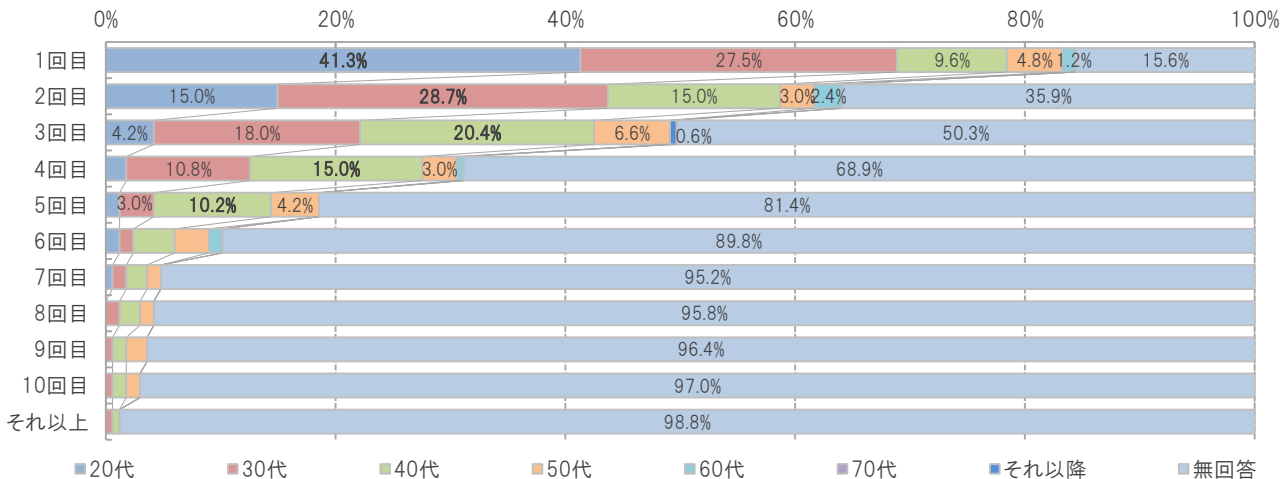
2.6回

役職	平均転職回数
経営者	2.4
幹部・役員クラス	2.5
部長クラス	2.7
課長クラス	2.3
個人事業主	2.8

<過去の転職経験回数>



上記の転職経験回数のうち、それぞれ何歳の時に転職されたのかを伺ったところ、1回目は「20代の時」が最も多く41.3%、2回目は「30代の時」が最も多く28.7%、3回目は「40代の時」が最も多く20.4%という結果になりました。4回目・5回目についても「40代の時」との回答が多くみられ、ミドルシニア世代になっても転職をする方が多いことがわかります。



## ■エグゼクティブの転職する理由、転職しない理由とは？

転職経験者の方に、転職理由を伺ったところ「キャリアアップのため」や「新たな挑戦のため」、「会社の方向性と自身の志向が異なってきた」、「独立を志したため」などの意見が目立ちました。逆に転職未経験者の方に、いままで転職しなかった理由を伺ったところ多かったのは、「現状満足感がありやりがいを感じるから」という意見と、「転職活動をしたものの、マッチする会社・案件がなかったから」などでした。

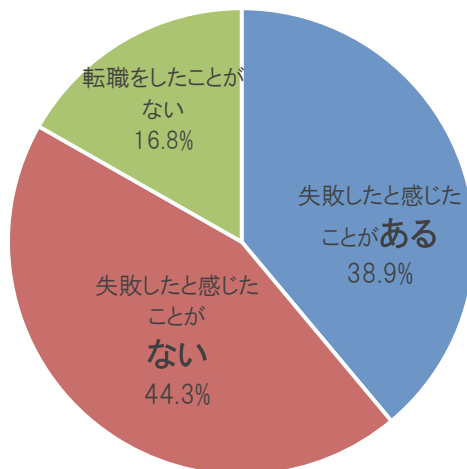
転職をした理由	転職しなかった理由
キャリアアップのため	現状に満足しているため
新たな挑戦のため	転職活動をしたものの、 マッチする会社・案件がなかったから
会社の方向性と自身の志向が異なってきた	今まで仕事のやりがいもあり、責任もあった。転職しようという発想がなく、突っ走ってきた。
独立を志したため	自分自身の成長につながる仕事ができているから

転職経験者の方に、転職をしてよかったことについて伺うと、「自身のビジョンが実現できる環境になったこと」や「経営に携われるようになり、幅広い多くの経験ができたこと」などの声が多く寄せられました。

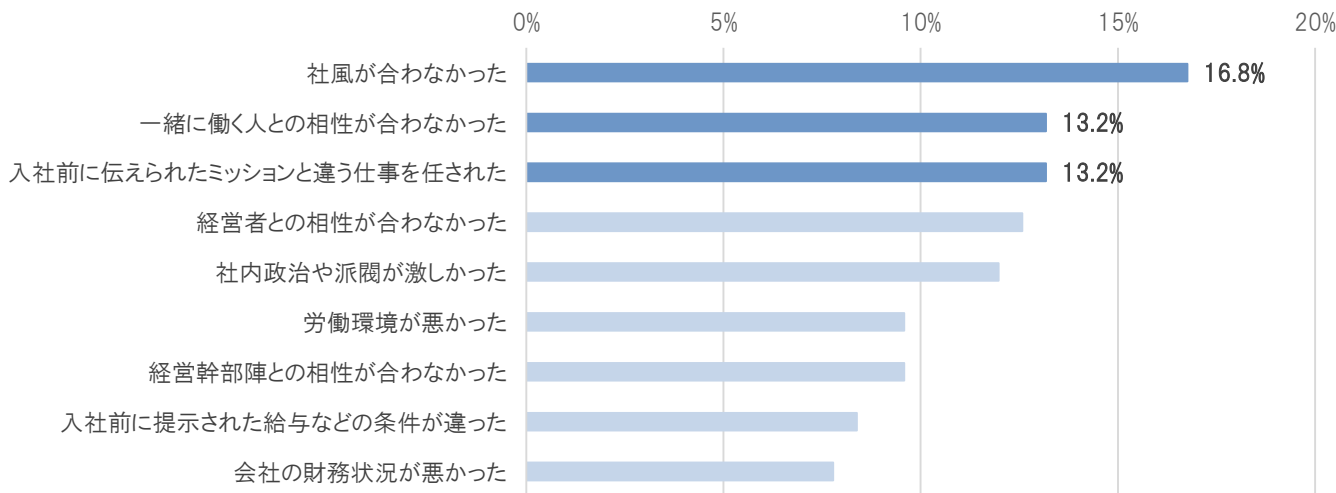
転職をして良かったこと
自身のビジョンが実現できる環境になり、仕事にやりがいを感じるようになった
経営に携われるようになり、幅広い多くの経験ができたこと
裁量権をもち、経営判断を行えるようになったこと
新しいチャレンジができたこと。新しい文化・環境・人に出会い、視野が広がった。 より価値観の近い人たちと仕事ができるようになった。
全て経営再建か収益改善等の経営業務であったが、経営スキル、人脈、決断力またEコマース等 新規事業 開発能力の向上や人事統制力、リーダーシップの向上が図れた。
自分の強みが何階層にも積み上がってきたこと。具体的には、小規模組織での個人単体の営業力→大規模 組織のマネジメント力→新規事業構築・会社再編→事業から財務(ファンド運営等)へ。
転職回数を重ねるうちに、どこにいても通じるセオリーは何か、なぜ同じような過ちを業態、業種が 異なっても起きるのか理解することができた。また、経営陣として鍛錬していくべき事がハッキリしたこと。

## ■38.9%のエグゼクティブは「転職をして失敗した」経験がある。

過去の転職経験を通じて、転職後に失敗したと感じたことがあるか伺ったところ、「転職後に失敗したと感じたことがある」との回答が38.9%、「転職後に失敗したと感じたことがない」との回答が44.3%になりました。



「転職後に失敗したと感じたことがある」と回答した方に具体的な理由を伺ったところ、「社風が合わなかった」との回答が最も多く16.8%、続いて「一緒に働く人との相性が合わなかった」、「入社前に伝えられたミッションと違う仕事を任された」との回答が13.2%となりました。いずれも入社前後でのギャップが失敗と感ずる要因になっていることが明らかになりました。



上記の回答意外にも転職後に失敗したと感じたエピソードを伺ったところ下記のような声もいただきました。ただ、当時は「失敗」と感じたことも長い目で見たときに、ご自身の経験値が増えたという観点では「成功」と捉えることもできます。

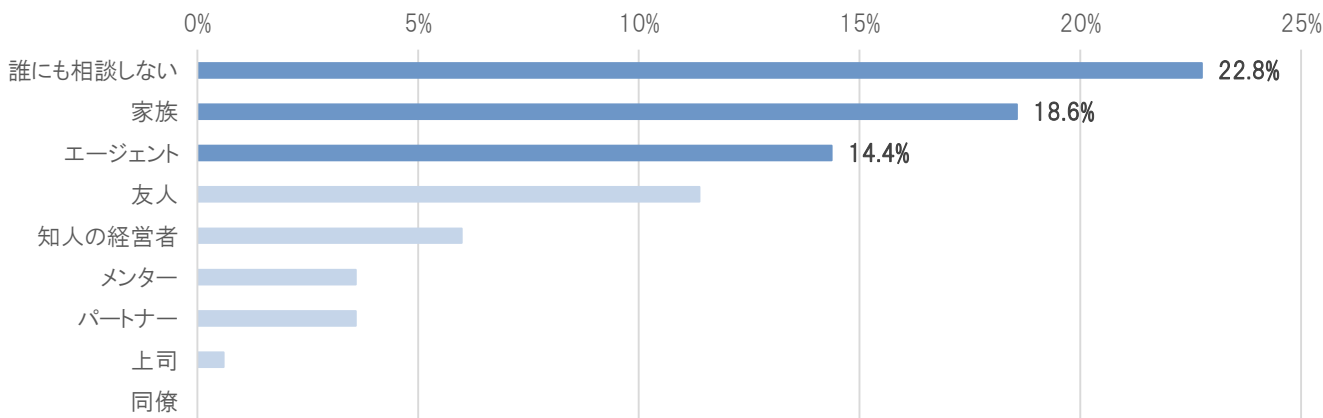
### 失敗のエピソード

オーナーやNO2が求めている(期待している)役割を行うことが、自分自身が現職を良くするために必要と感じていることと逆行することがあった。

ドラスティックな改革が必要な経営再建案件で、従業員(会ったことが無い現場の人員)から逆恨みを買って、手法を非難された事がある。コミュニケーション力の向上の必要性を痛切に感じた。

## ■エグゼクティブが「転職」を考えると、最初に相談する相手とは？

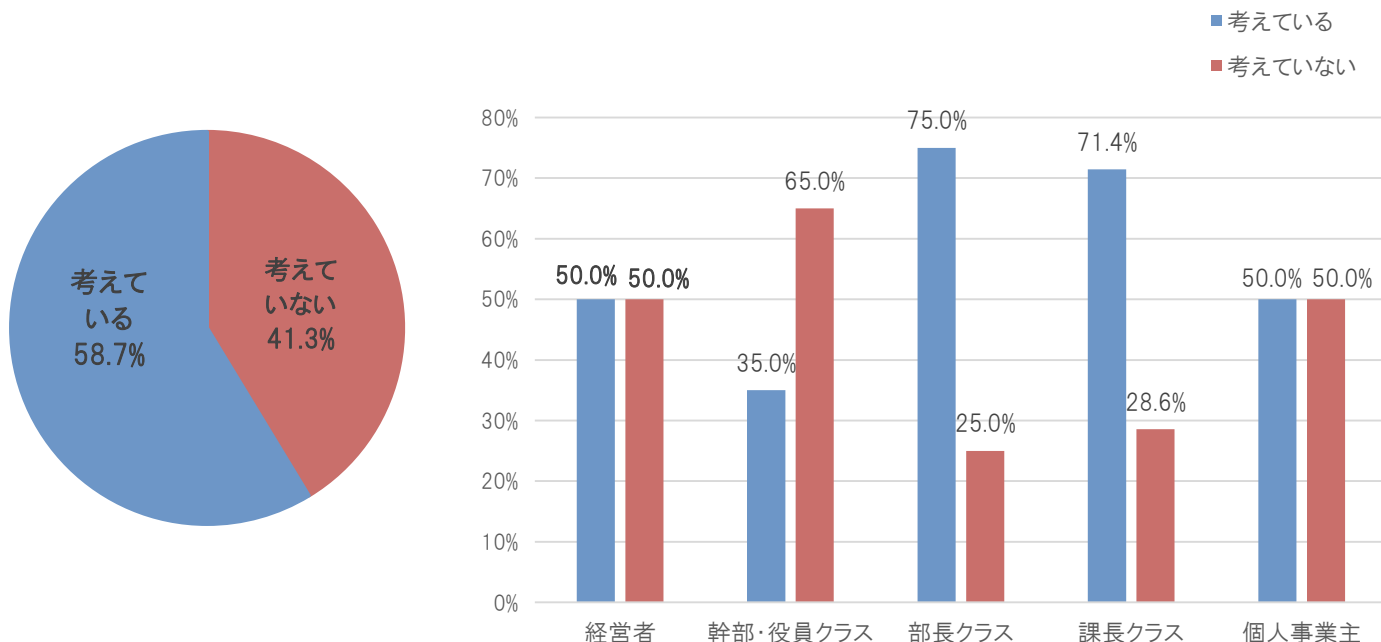
転職経験者の方に転職を考えたときまず最初に相談する人は誰ですか？と伺ったところ、「誰にも相談しない」との回答が最も多く22.8%、続いて「家族」との回答が18.6%、「エージェント」が14.4%という結果になりました。まずは誰かに相談するのではなく、ご自身で考え、キャリアを築いていく方が多いことが明らかになりました。



## ■経営者は常に挑戦をする生き物！50%の経営者は今後転職を考えている。

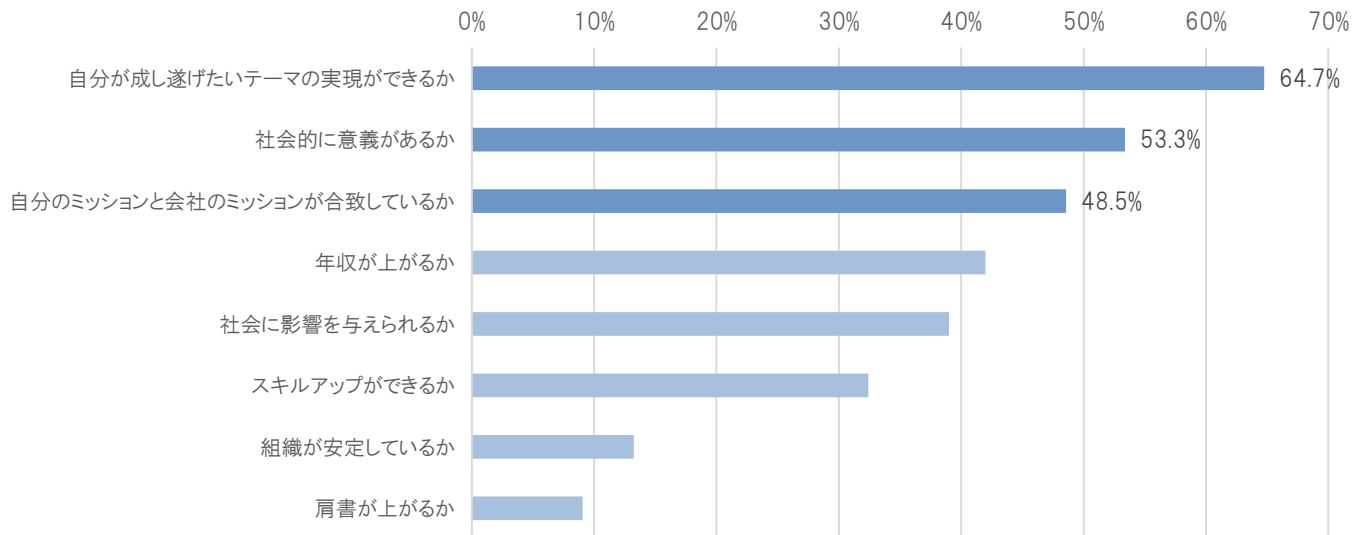
今後の転職の可能性について伺ったところ、全体で見ると、58.7%が「転職を考えている」、41.3%が「転職を考えていない」という回答になりました。半数以上のエグゼクティブは今後の転職を見据えています。

一方で役職別に見てみると経営者の方は50%が「転職を考えている」という結果になりました。「転職を考えていない」という回答の方が上回ったのは幹部・役員クラスのみ。それ以外は同等もしくは「転職を考えている」方が多いことが明らかになりました。

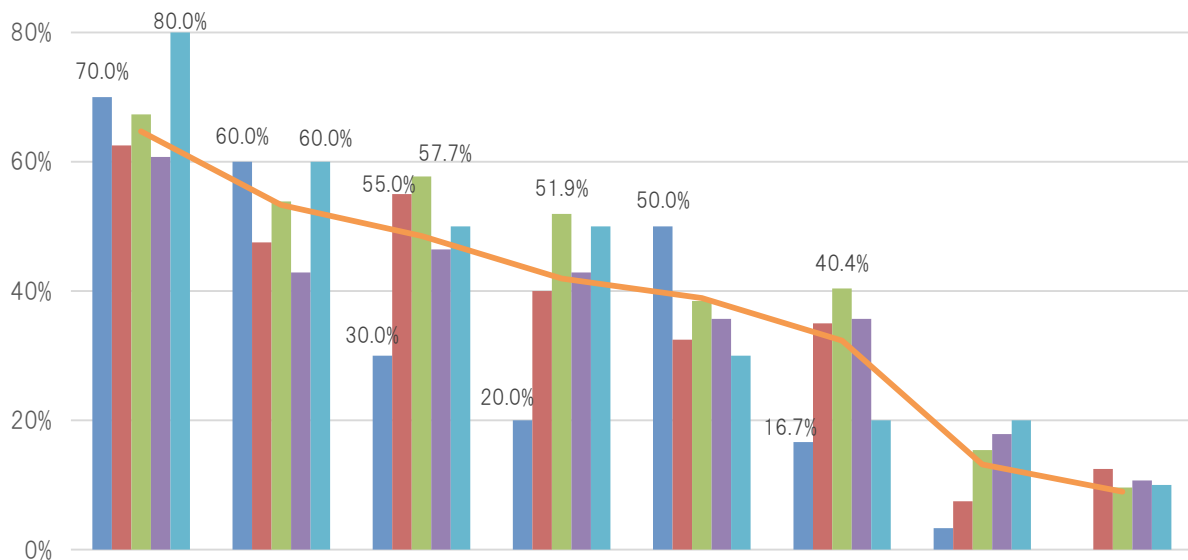


## ■エグゼクティブが新天地を選ぶ条件は「自分が成し遂げたいテーマの実現」

現在の転職意思の有無にかかわらず、いまの会社以外で新天地を選ぶとなった際に重視することはなんでしょうか？と伺ったところ、「自分が成し遂げたいテーマの実現」が最も多く64.7%、続いて「社会的に意義があるか」が53.3%、「自分と会社のミッションが合致しているか」が48.5%という結果になりました。



役職別に見てみると、「自分が成し遂げたいテーマの実現」や「社会的に意義があるか」などを回答した内訳は経営者と個人事業主が多い一方で、「年収があがるか」や「スキルアップができるか」などを回答した内訳は部長クラスが最も多い結果になりました。



	人数	自分が成し遂げたいテーマの実現ができるか	社会的に意義があるか	自分のミッションと会社のミッションが合致しているか	年収が上がるか	社会に影響を与えられるか	スキルアップができるか	組織が安定しているか	肩書が上がるか
経営者	30	70.0%	60.0%	30.0%	20.0%	50.0%	16.7%	3.3%	0.0%
幹部・役員クラス	40	62.5%	47.5%	55.0%	40.0%	32.5%	35.0%	7.5%	12.5%
部長クラス	52	67.3%	53.8%	57.7%	51.9%	38.5%	40.4%	15.4%	9.6%
課長クラス	28	60.7%	42.9%	46.4%	42.9%	35.7%	35.7%	17.9%	10.7%
個人事業主	10	80.0%	60.0%	50.0%	50.0%	30.0%	20.0%	20.0%	10.0%
全体	160	64.7%	53.3%	48.5%	41.9%	38.9%	32.3%	13.2%	9.0%

## ■調査概要

- ・実施期間:2018年10月31日～2018年11月14日
- ・調査対象:エグゼクティブの男性・女性(課長職以上・個人事業主含む)
- ・調査機関:経営者JPメルマガ会員:約7,000名(有効回答数167名)
- ・調査手法:インターネット調査

※データ利用の際は「経営者JP総研事務局 中村・藤田」までご連絡いただければ幸いです。  
本調査の著作権は「株式会社経営者JP」に帰属します。

## ■株式会社 経営者JPについて

弊社は、明日の日本を担う志高き経営者・リーダーを育成・輩出するための「集い、学び、執行する最高の場」を提供すべく4事業を展開しております。

エグゼクティブサーチ事業(経営層特化の人材紹介)／コンサルティング事業(組織・人材・経営コンサルティング、講師・顧問派遣、EQコンサルティングサービス)／セミナー事業(経営者・リーダー対象セミナーの主催)／会員事業(志高きリーダーの会員組織の主催運営、コンテンツ提供・物販)

## ■本件に関する問い合わせ先

株式会社経営者JP 広報担当 中村・藤田 <http://www.keieisha.jp/>  
TEL:03-6408-9700/FAX:03-6408-9701 E-mail: info@keieisha.jp